

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 實用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭60-35920

⑫ Int.Cl.

F 16 D 3/21

識別記号

序内整理番号

2125-3J

⑬ 公開 昭和60年(1985)3月12日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 等速ジョイントのボール抜け止め構造

⑮ 実開 昭58-127501

⑯ 出願 昭58(1983)8月18日

⑰ 考案者 上信治 太田市西本町35-8

⑱ 出願人 富士重工業株式会社 東京都新宿区西新宿1丁目7番2号

⑲ 代理人 弁理士 清瀬三郎 外1名

⑳ 實用新案登録請求の範囲

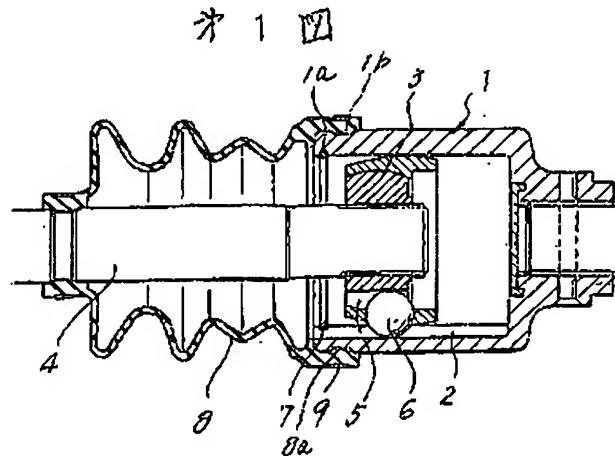
アウターレースと、該アウターレース内にボールを介して回転方向に係合した状態で嵌装されたインナーレースと、該インナーレースに結合された軸と上記アウターレースとの間をシールするブーツとからなる等速ジョイントにおいて、外周にブーツを固定する為の凹部又は凸部を形成しアウターレース端部外周面に嵌装される筒状部と、該筒状部の端部にアウターレースの内周端より内側に延びるアウターレース内に組込まれたボールの抜け出しを拘止するフランジ部とからなるカップ状部材を、上記ア

ウターレース端部外周面に筒状部を嵌持固定して組付けたことを特徴とする等速ジョイントのボール抜け止め構造。

図面の簡単な説明

第1図は従来の等速ジョイント構造を示す断面図、第2図は本考案の実施例を示す断面図、第3図は第2図のX部の拡大図である。

1…アウターレース、3…インナーレース、2, 5…ボール溝、6…ボール、8…ブーツ、9…ブーツバンド、10…カップ状部材、10a…筒状部、10a'…凹溝、10b…フランジ部。



実開 昭60-35920(2)

